

家族の歴史を繋ぐ住まいのカタチ
古民家あらし

優秀賞

「古民家あらし」は、築100年の古民家を改修した一棟貸しの宿泊施設である。里山の緑に包まれて住みつづけられてきた民家を、躯体、梁・大黒柱など当初のまま維持しつつ、現代の暮らしに合わせて改装している。屋根裏を積極的に見せる工夫など、建築文化継承の意欲を感じさせる。



建築主:岡田 智子
設計:株式会社 中村工務店
施工:株式会社 中村工務店
所在地:勝浦市宿戸



(撮影全て/かずま 草原学)

家族の気配を縦横に伝え合うユニークな住まい

スパイラル アンド パラレログラム

Spiral and Parallelogram/クレバスノイエ



(撮影全て/浅川敏)

優秀賞



「Spiral and Parallelogram/クレバスノイエ」も、住宅地の角地を占めているが、前面道路の交通量が比較的多く、南西風が強いという条件に合わせ、杉板の垂れ壁でくまられた姿をしている。しかし、過度に閉鎖的ではなく、吹き抜けを介して連続する生活空間の気配が、テラスのスリットや開口部から街ににじみ出している。

建築主:東山氏
設計:伊藤潤一建築都市設計事務所
多田脩二構造設計事務所
施工:株式会社大和工務店
所在地:船橋市宮本

入賞

「唯・巧・居の家」は、JR駅に近い用途混在エリアに建つ4戸の分譲住宅である。薄暗いデッドスペースになりがちな隣空地の位置・形状を工夫し、間口約10m、奥行き約45mの敷地に心地よい「庭」を持つ都市型住宅を実現している。



コストパフォーマンスの高い狭小ながら、住み心地の良い都市型住居
唯・巧・居の家

建築主:ボラスガーデンヒルズ株式会社
設計:ボラスガーデンヒルズ株式会社
施工:ボラテック株式会社
所在地:松戸市新松戸